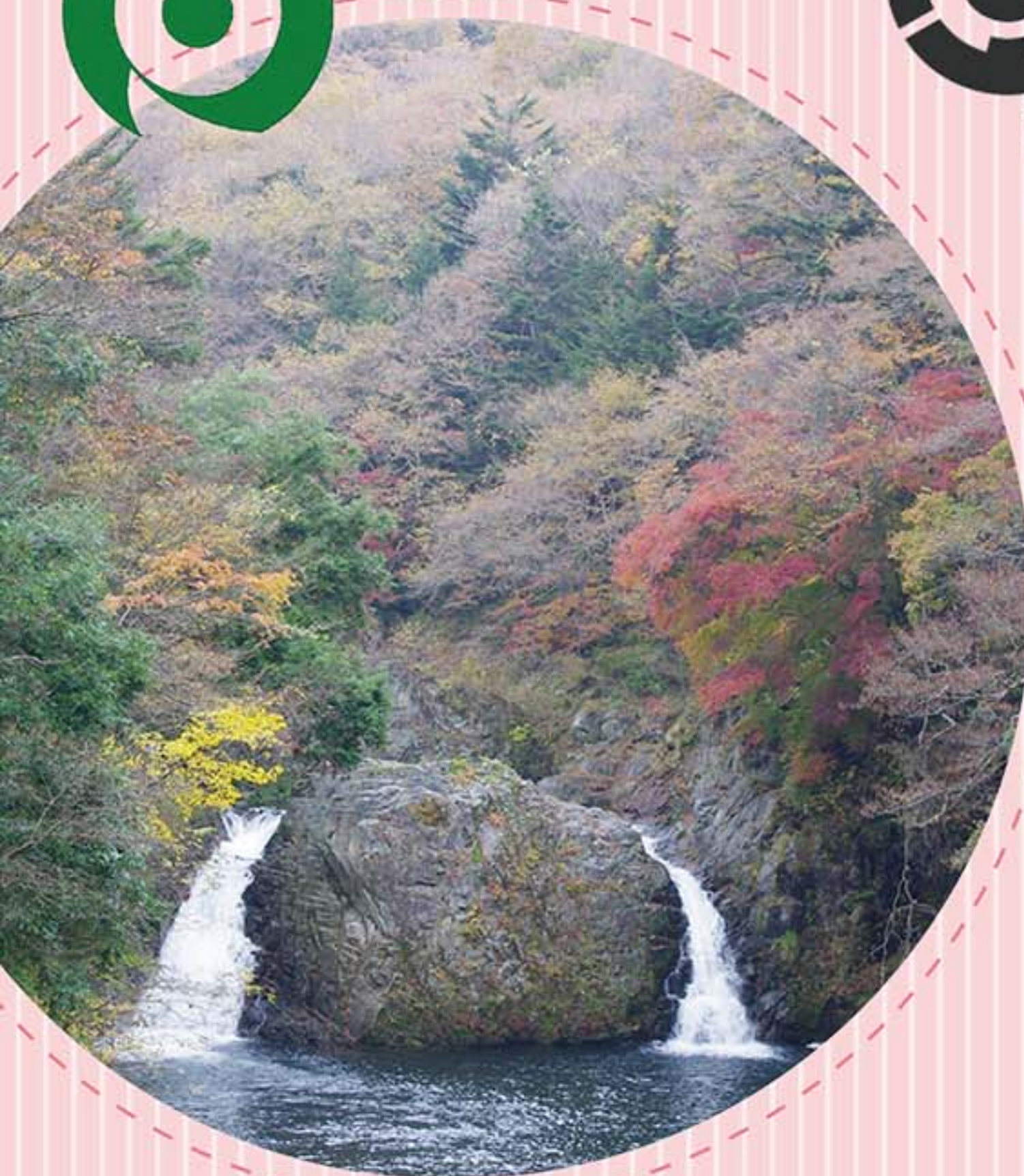
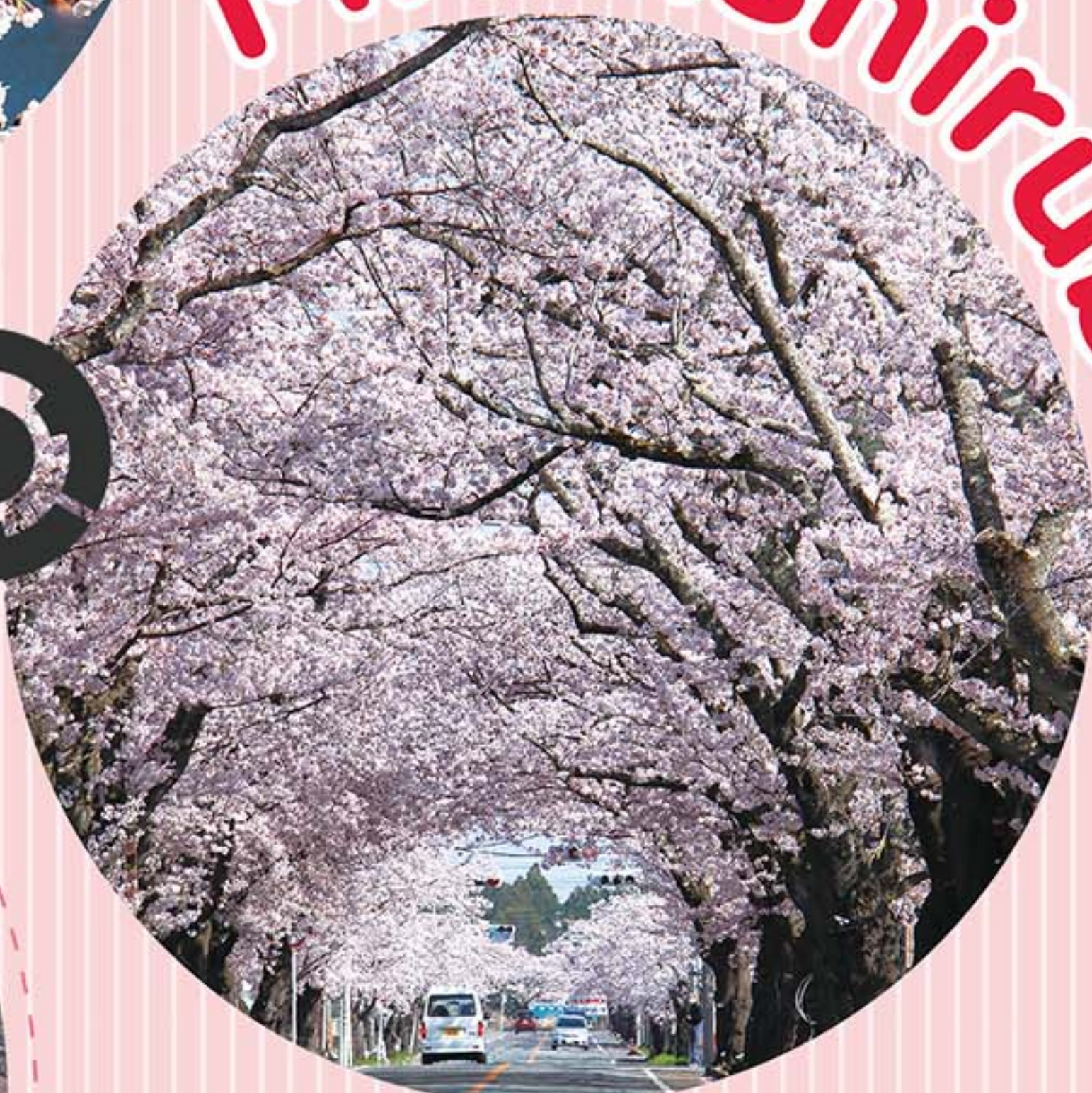




Michishirube

外国人向け福島を発掘!



川内村

「草野心平が愛した」川内村

川内村に入るとゆったりとした時間、透き通った川の水が流れていて美しい景色が目の前に広がってきました。詩人・草野心平が川内村の人々と豊かな自然に心を打たれ、毎年のように訪れるようになったことから1960年に名誉村民に任命され労働奉仕によって建てられた天山文庫。美しいロケーションに溶け込む木造茅葺屋根の家の中は草野心平が暮らした部屋の様子がそのまま残されています。会津の花春酒造から贈られた酒樽を書庫にしているところも見所。水の美しさは別格で綺麗な水の中でしか生息できないイワナやヤマメなどの川魚たちが元気に泳いでいます。村の至る所で見かけるカエルの置物や村のマスコットキャラクターのモリタロウくんがとても愛らしかったです。



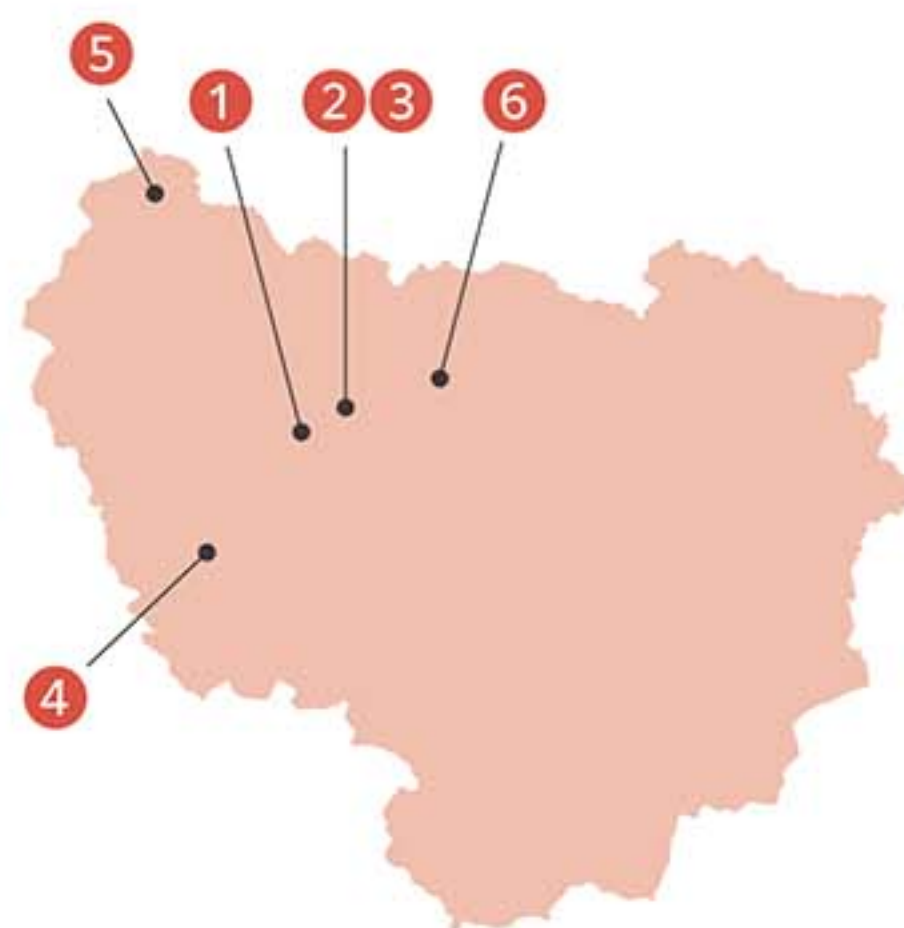
川内村公式キャラクター
「自然の村長 モリタロウ」



川内村公式
ホームページ



川内村
観光協会



① 天山文庫。草野心平資料館と隣接しており、春夏秋冬季節の装いを楽しめる。夏には天山まつりが行われる。資料館で受付をして見学可能。



② 蕎麦酒房天山。川内村のそば粉を使用した十割手打ちそばはコシがあり絶品。写真はとろろそばだが人気No1は天ぷらそば！是非ご賞味あれ。



③ カフェアマゾン。タイで有名のカフェが川内村に日本第一号店として出店！広々とした店内でタイチャイやコーヒー、タイカレーなど味わえる。



④ 平伏沼。貴重なモリアオガエルの生息地。繁殖地として国の天然記念物に指定されているのは全国で2か所のみ！6、7月が産卵期。



⑤ かわうちワインのぶどう畑。標高750mの広大な土地で圧巻の光景。川内村でしか手に入らないロゼワインは辛口微発砲でキリッとした味わい！



⑥ いわなの郷。釣りを楽しめる釣り堀、イワナ料理を味わえる幻魚亭、宿泊可能なコテージもあり子どもから大人まで楽しめる。釣り堀は冬季休業。

双葉町

「ダルマが復興の道しるべに」双葉町

2022年8月に町内一部の避難指示が解除され、町に人が戻ってきました。双葉町の新しい町づくりが今まに行われています。巨大壁画アートが町の至る所に描かれており、見る人に元気やパワーを与えてくれます。中野地区復興産業拠点には復興の先駆けとなる双葉町産業交流センターや東日本大震災・原子力災害伝承館、フタバスーパーゼロミル・エアーかおる双葉丸、宿泊施設などが並んでいます。約50ヘクタールの敷地に東日本大震災の犠牲者を悼む「追悼と鎮魂の丘」を中心とした福島県復興祈念公園が建設中です。シェアサイクルやシャトルバス、カーシェアリングなど交通手段も工夫されています。2023年に12年ぶりにダルマ市が町内で開催されました。一步一步前に進んでいる双葉町に是非足を運んでみてください。



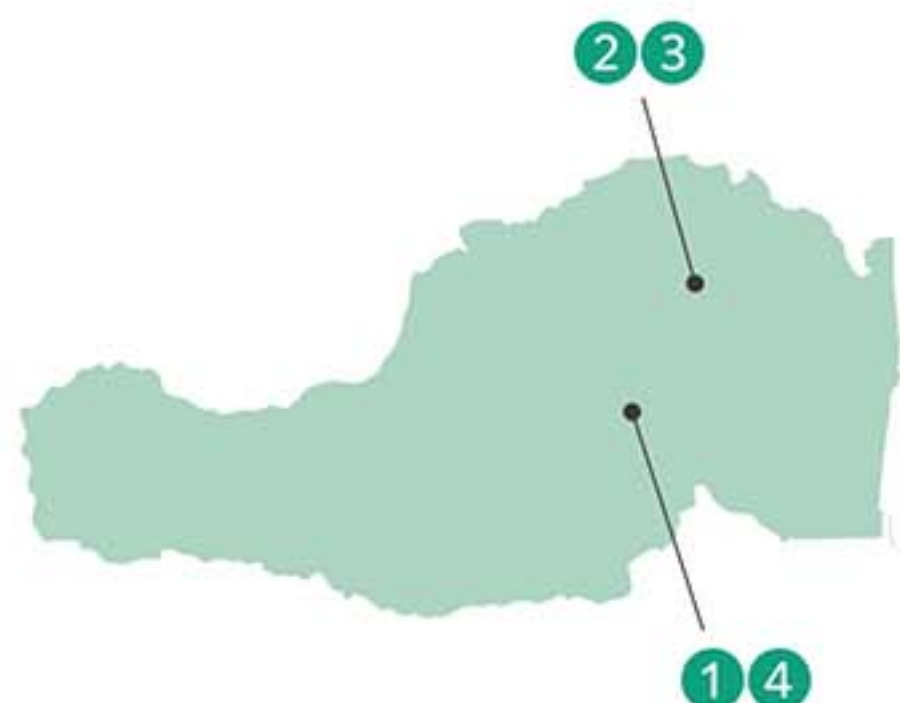
双葉町イメージキャラクター
「フタバくん」



双葉町公式
ホームページ



一般社団法人
ふたばプロジェクト



① 壁画アート。双葉駅周辺の空き店舗や営業を開始した事業所に壁画を描きアートの力で元気を与えている。



③ 双葉町産業交流センター。町の産業復興や観光交流などの中核を担う複合施設でフードコートやお土産屋物店、休憩室などがある。



公式サイト



② 東日本大震災・原子力災害伝承館。体験者からの語り部講和や映像、展示から震災の記録と記憶を教訓として防災・減災・未来につないでいく。



④ 双葉町ダルマ市。江戸時代から続く新春市。子ども樽神輿やダルマ神輿、露店、ステージイベントと盛りだくさん。毎年1月に双葉駅前で開催される。

大熊町

「希望が満ち溢れている」大熊町

大川原地区復興拠点には町役場新庁舎や商業施設、交流施設、宿泊温泉施設、こども園・義務教育学校学び舎ゆめの森が並んでおり、新しい芝生にはマスコットキャラクターまあちゃんの芝刈り機がかわいくお出迎えしてくれます。大熊町交流ゾーンには商業施設「おおくまーと」、交流施設「linkる大熊」、宿泊温泉施設「ほっと大熊」が並んでおり、買い物、食事、遊び、宿泊がここで楽しめます。ゼロカーボンタウンの先進地として人と地球にやさしいまちづくりに取り組んでいる大熊町。大野駅西口には新たに産業交流施設と商業施設がグランドオープンし、様々な人々が集う希望が満ち溢れている大熊町に是非足を運んでみてください。



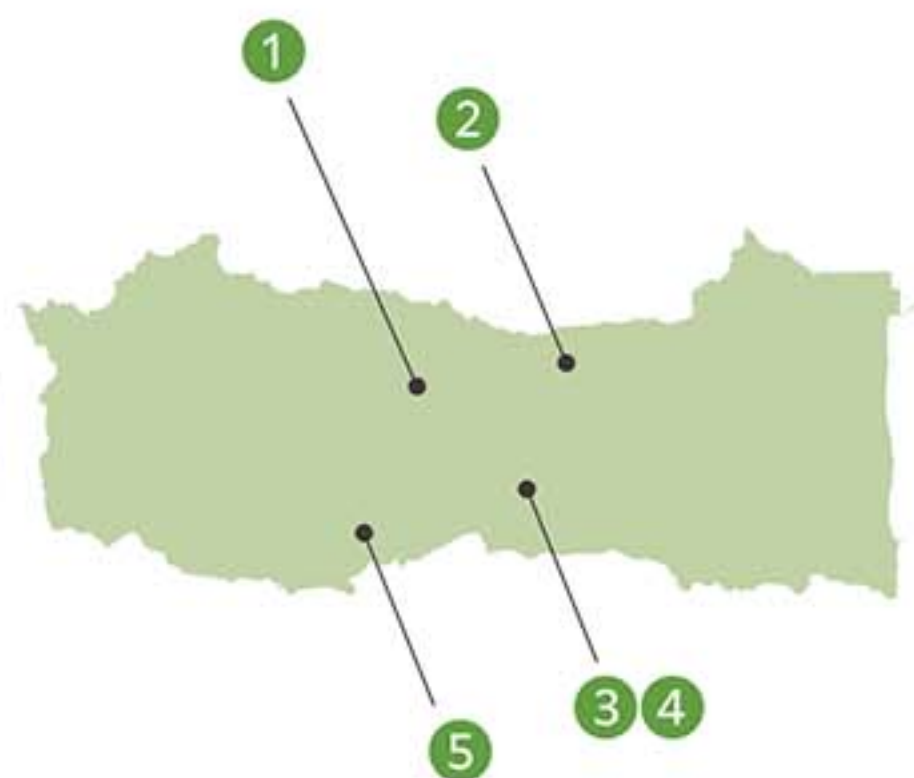
大熊町公式マスコットキャラクター
「まあちゃん」



大熊町公式
ホームページ



大熊町
Instagram



① ネクスファームおおくま。おおくまベリー等の他にもこんにゃくゼリーやジャム、ドライフルーツも販売。



③ 大熊町交流ゾーン。震災前から町内で営業していたお店も多く、町内の憩いの場。広々と快適なつくりの宿泊温泉施設は、初めて利用される方にも大好評。



⑤ 坂下ダム。2月上旬から開花し、早咲きのカワヅザクラや新芽の芽吹きと同時に開花するヤマザクラなど、数種類の桜が美しく咲く風景を楽しめる。



② 2025年3月大野駅西口に商業施設がオープン。飲食店や物販店、コンビニエンスストアの他に屋内キッズスペースや芝生の広場もある。新たな町の顔として賑わいの中心地。



④ 頭森公園。大熊町役場に隣接する頭森公園は、小高い丘に遊歩道や展望広場が整備され、自由に散策できる憩いの場となっている。

富岡町

「未来へとつながる広がる」富岡町

富岡町に入ると景色や建物が綺麗で車から降りてすぐ、自然と大きな深呼吸をしていました。とみおかアーカイブ・ミュージアムの中は音・映像・照明の工夫により異空間の中、資料や展示物をじっくり見学することができます。その他、富岡町文化交流センター学びの森や特定廃棄物埋立情報館リプルンふくしま、東京電力廃炉資料館などがありさまざまな学びと体験をすることができます。町で出会った人たちは、県外から移住してきた方も多く、みんなで手を取りあって富岡町を盛り上げ元気な町づくりをしようと挑戦しています。これからの富岡町が更に楽しみです。きっと訪れたらお気に入りの場所になるはず。是非一度訪れてみてください。



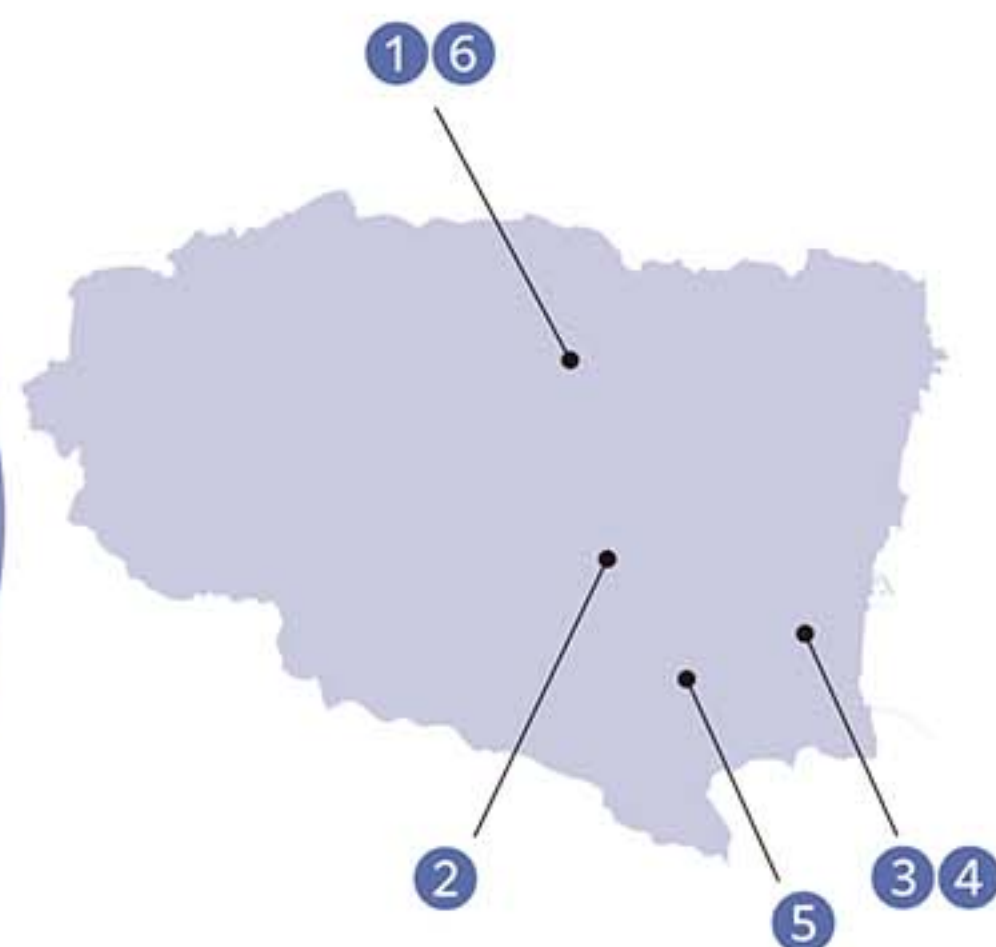
富岡町マスコットキャラクター
「とみっぴー」



富岡町公式
ホームページ



一般社団法人
富岡町観光協会



①夜の森の桜。全長2.2キロにわたる約420本のソメイヨシノの桜トンネル。毎年桜まつりが開催される。見頃は3月下旬から4月上旬。



②とみおかアーカイブ・ミュージアム。富岡町の成り立ちと複合災害がもたらした地域の変化を伝えています。想い、まもり、つなげる、拠点施設。



③とみおかワイン葡萄栽培クラブ小浜ほ場。海の目の前に位置し太平洋を一望できる。とみおか産ワインで魅力ある町づくりに取り組んでいる。



④富岡漁港。8月には夏祭りが開催される。アユのつかみ取りや砂丘での宝探しなど浜通りならではの催し。夜には花火の打ち上げもある。



⑤浜鶏のラーメン。あっさりとしていて鶏の旨味をギュッと凝縮した絶品の一杯。さくらモールとみおかのフードコートで食べられる。



⑥BAUM HOUSE YONOMORI。富岡町のお米100%から作られているグルテンフリーのバウムクーヘン。プレーンや玄米の他季節限定味も販売。

檜葉町

「笑顔と解放感溢れる」檜葉町

サッカーナショナルトレーニングセンターJヴィレッジをはじめ、天神岬スポーツ公園など解放感溢れる観光スポットが檜葉町にはあります。天神岬公園は目の前に海が広がっており、展望台からは太平洋を一望しながら「海はひろいな大きな〜」と自然と口ずさみたくなります。またオートキャンプ・フリーキャンプ場が備わっており手ぶらでBBQを楽しむこともできます。隣には天神岬温泉があり解放感溢れる中美肌の湯で身体を癒すこともできます。檜葉町は柚子とさつまいもが特産品で、干し芋やジェラート、ゆず酒、ゆず塩ラーメン、ゆずポン酢など道の駅ならはで購入することができます。マスコットキャラクターゆず太郎の笑顔と同じように笑顔と解放感が溢れる檜葉町へ！



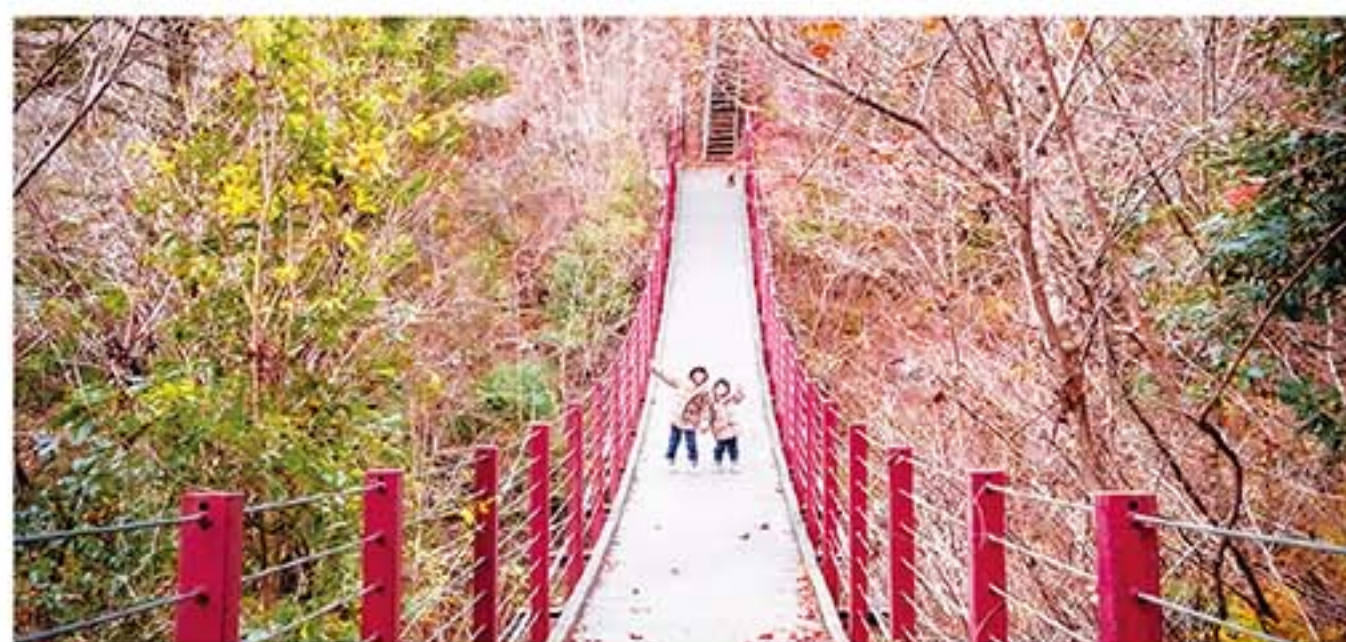
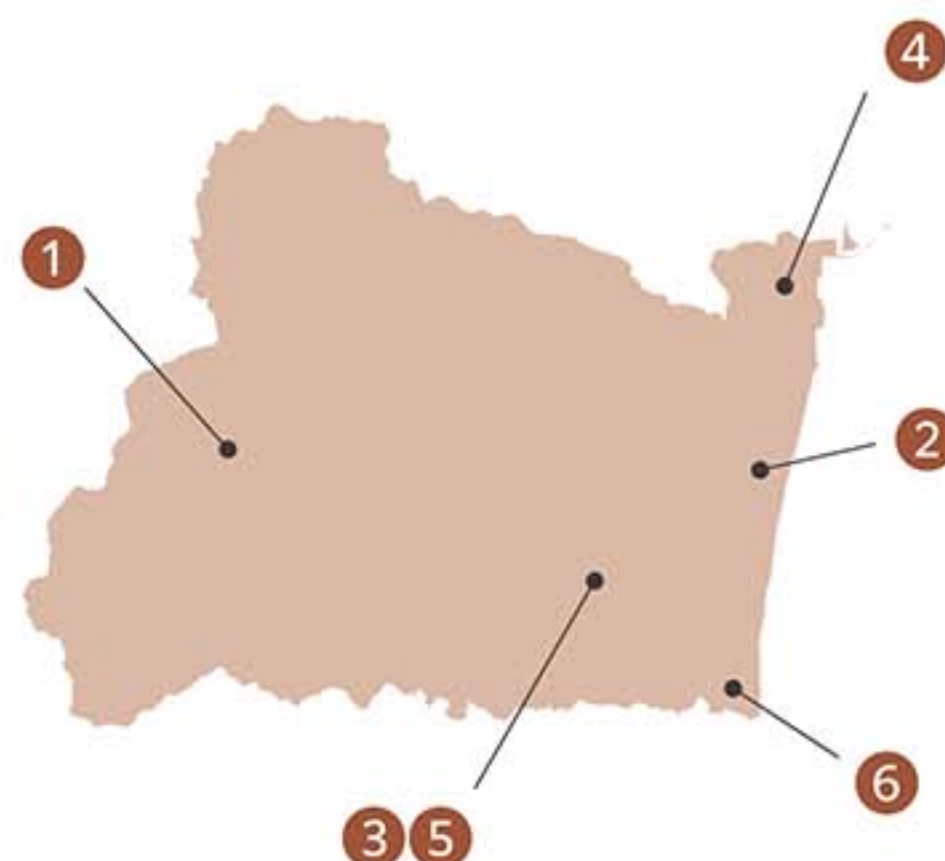
檜葉町マスコットキャラクター
「ゆず太郎」



檜葉町役場
公式ホームページ



一般社団法人
ならはみらい
公式ホームページ



① 木戸川渓谷。新緑や紅葉など四季折々に美しい渓谷。遊歩道があり、雄滝・雌滝や町指定文化財であるしい杉ばあ杉をはじめとした壮大な自然に触れることができる。



② 天神岬スポーツ公園。広大な太平洋を一望でき、アドベンチャー広場やキャンプ場、ドッグラン、温泉、アイスショップなどがあり、キャンプシーズンは大勢の人で賑わう。



③ 道の駅ならは。温泉施設があり、地域の特産品やお土産品を販売する物産館や多様なメニューが揃うフードコート、ジェラートが自慢のアイスショップなどがある。



④ なら福。常磐ものの新鮮な魚介や豊洲市場直送のまぐろ、黒毛和牛ステーキなどが味わえる和食レストラン。広々とした店内でゆっくり舌鼓。



⑤ マミーすいとん。鶏肉とごぼうに醤油ベースの優しい味付け。すいとんが柔らかくもちもち触感。道の駅ならはや天神岬のレストラン岬で食べることができる。



⑥ 岩沢海水浴場。遠浅で小刻みな波がありサーフスポットとしても人気。夜はすぐ右手にある火力発電所の夜景を楽しむことができる。

広野町

「東北に春を告げる」広野町

福島は寒いイメージがありますが、広野町は寒暖差が少ない気候で冬場でも積雪があまりなく、年間を通して過ごしやすい場所です。その為みかんやバナナなどのフルーツも栽培でき6次化商品づくりにも取り組んでいます。誰もが知っている童謡「とんぼのめがね」が生まれた町でもあり、唱歌「汽車」の舞台であるとも言われています。詩にしたくなる自然豊かな美しい情景が広がっています。またサッカーの聖地Jヴィレッジがあり、日本代表のキャンプも行われ、館内には選手の手形・足形のプレートが飾られています。今年開催されるデフリンピックのサッカー競技会場にも選ばれ更に盛り上がりを見せる広野町。日本一美しい日の出の町に泊まりで行ってみてください！



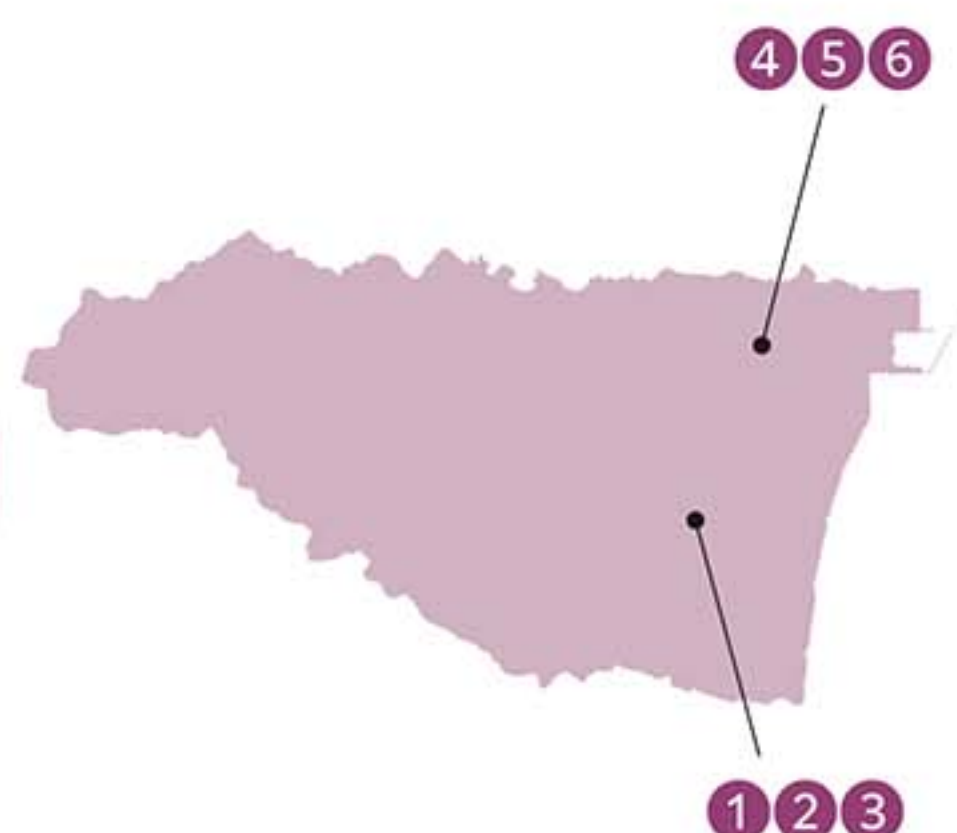
広野町イメージキャラクター
「ひろぼー」



広野町公式
ホームページ



広野町公式
YouTube



①日本一美しい日の出の町。令和5年に「日本一美しい日の出の町」宣言が行われ、町内には高倉山、みかんの丘など複数の日の出スポットがある。



②チンタオサウルス全身骨格標本。広野町で発見されたヒロノカモハシリユウと同種であることから広野町役場1階ロビーに展示されている。



③みかんの丘。みかんが特産品の広野町。シーズンは11月下旬から12月中旬。広野町役場の隣に位置している。



④二ツ沼総合公園。広大な敷地にパークゴルフ場や大型遊具、バーベキュー施設、直売所、レストラン、アルパカのおうちなどがある。

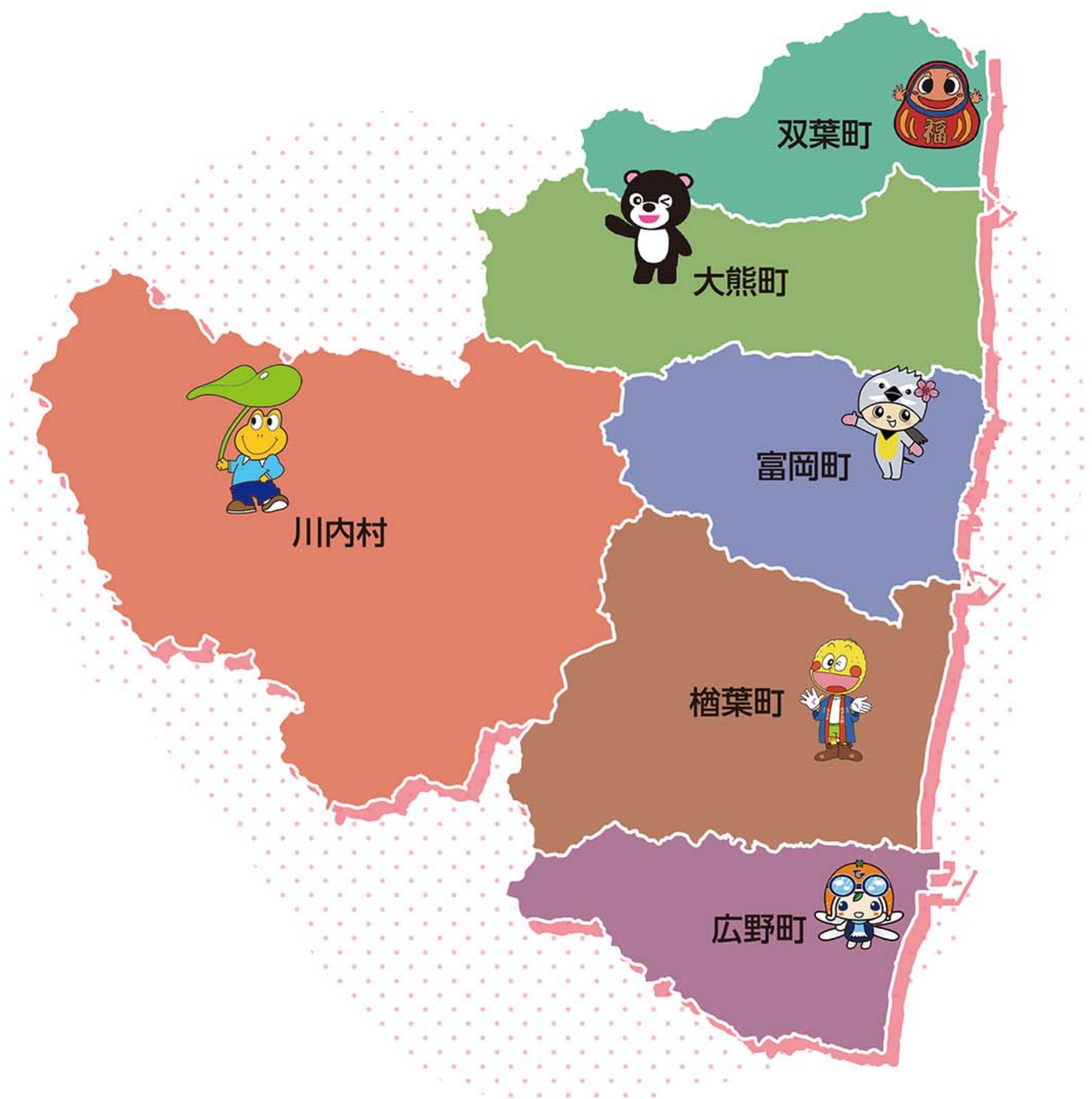


⑤みかんサイダー。広野町のみかんを使用したサイダー。みかんそのままはもちろん、みかんジュース果汁100%なども販売している。



⑥トロピカルフルーツミュージアム。広野町の新たな特産品としてバナナ「綺麗」を栽培・販売している。バナナを栽培しているハウスを見学することもできる。

福島県6町村MAP



主催：NPO 法人福島就労支援センター

☎070-4419-8412 担当：原

Web サイト：<https://npo-fssc.org>

メール：info@npo-fssc.org

このリーフレットは福島県「令和6年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の補助金の交付を受けて作成しています。



Web